

高等学校 令和 6 年度 （ 3 学年用）

教 科 ： 国語 科 目 ： 論理国語

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 3 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1 組 ： 最 上 ） （ 2 組 ： 片 桐 ） （ 3 組 ： 最 上 ） （ 4 組 ： 片 桐 ） （ 5 組 ： 最 上 ） （ 6 組 ： 最 上 ） （ 7 組 ： 片 桐 ）

使 用 教 科 書 ： 標 準 論 理 国 語 （ 第 一 学 習 社 ）

教 科 の 目 標 ： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使えるようになる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使えるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 生活の中の表現読み比べ						
	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。((1)エ)	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。((1)エ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握できる。(B(1)ア)	【指導項目・内容】 「情けは人の……」	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握できる。(B(1)ア)	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えることができる。				
1 学 期	2 単元名 生活の中の表現読み比べ						
	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用している。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫できる。	【指導項目・内容】 「犬も歩けば棒に当たる」	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 ことわざの誤用や複数の解釈について積極的に調査し、まとめようとしている。		【学びに向かう力、人間性等】 ことわざの誤用や複数の解釈について積極的に調査し、まとめようとしている。				
1 学 期	3 単元名 生活と自然読み比べ						
	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めることができる。(B(1)キ)	【指導項目・内容】 「クマを変えてしまう人間」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。(B(1)キ)	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に本文中の表現について考え、その表現が文章全体にもたらす効果を説明しようとしている		【学びに向かう力、人間性等】 積極的に本文中の表現について考え、その表現が文章全体にもたらす効果を説明しようとしている				
2 学 期	1 単元名 小論文を書く						
	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。((1)ウ)	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。((1)ウ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫できる。(A(1)ウ)	【指導項目・内容】 書いた小論文を評価・分析して修正する 構成を考えて小論文を書く 得られた情報を分析して自分の考えを決める	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。(A(1)ウ)	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 教科書の例を参考に、構成や表現の仕方を工夫して、積極的に小論文を書くことができる。	課題の文章を読んで情報を整理する 書いたレポートを評価・分析して修正する 構成を考えてレポートを書く 得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む 資料を集めて情報を整理する	【学びに向かう力、人間性等】 教科書の例を参考に、構成や表現の仕方を工夫して、積極的に小論文を書くこととしている。				

	単元の具体的な 指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
2 学 期	2 単元名 自己と社会						
	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にできる。(A(1)エ)	【指導項目・内容】 「鏡としての他者」	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。(A(1)エ)	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。				
2 学 期	3 単元名 新しい視点						
	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用できる。((2)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用できる。((2)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫できる。(A(1)オ)	【指導項目・内容】 「哲学的思考とは何か」	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫できる。(A(1)オ)	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って「哲学的思考」を理解できる。		【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って「哲学的思考」を理解しようとしている。				
3 学 期	1 単元名 現代と社会						
	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。(B(1)カ)	【指導項目・内容】 「科学技術は暴走しているのか」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ)	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性等】 本文を読んで、科学技術に対する考えに変化があったかどうかを進んで振り返り、変化を比較しながら文章にまとめることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 本文を読んで、科学技術に対する考えに変化があったかどうかを進んで振り返り、変化を比較しながら文章にまとめることができる。				
3 学 期	2 単元名 論理研究―推論						
	【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使用できる。((2)ウ)	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使用している。((2)ウ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握できる。(B(1)ア)	【指導項目・内容】 「推論とは何か」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア)	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 推論の種類について述べた文章を粘り強く読み、その内容について理解を深めることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 推論の種類について述べた文章を粘り強く読み、その内容について理解を深めようとしている。				